

ワイヤレス通信に利用される無線周波数帯は高周波化へ向かい、マイクロ波・ミリ波技術は一層重要となつています。また、センシング、計測、エネルギー伝送など多方面への応用も広がっています。そこで、様々な分野に必要なマイクロ波・ミリ波技術の最新動向を網羅し、当該分野の基盤技術の更なる発展に寄与することを目的に、「マイクロ波・ミリ波技術の最新動向」小特集（平成30年10月号）を企画しました。奮っての御投稿をお願い致します。

### 1. 対象分野

主な分野は以下の通りですが、これらに限定するものではありません。

- ・能動素子、受動素子
- ・能動回路（発振器、通倍器、混合器、増幅器、ミックスドシグナルIC、MMICなど）
- ・受動回路（フィルタ、共振器、カプラ、メタマテリアルなど）
- ・マイクロ波／ミリ波／THz波システム（センシング・イメージング技術、ヘルスケア技術など）
- ・アンテナ及びその集積化技術
- ・マイクロ波フォトニクス
- ・IC及び高周波モジュール実装技術及び評価技術
- ・無線電力伝送技術
- ・シミュレーション技術

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー：8ページ、ブリーフペーパー：4ページ以内（厳守）とします。詳細はInformation for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

### 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

- ・ [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) より登録して下さい。
- ・ Web上で著作権の譲渡手続きを行って下さい。
- ・ 登録時には、必ず“Journal/Section”で[Special-MM] Microwave and Millimeter Wave Technologiesを選択して下さい。[Regular-EC]を選択しないで下さい。

### 4. 論文投稿締切日 平成30年1月31日（水）厳守

### 5. 問合せ先

上田哲也

京都工芸繊維大学電気電子工学系

TEL〔075〕724-7454, E-mail: [ueda@kit.ac.jp](mailto:ueda@kit.ac.jp)

### 6. 小特集編集委員会

委員長 篠原真毅（京大）

幹事 上田哲也（京都工繊大）、平塚敏朗（村田製作所）

委員 石川 亮（電気通信大）、伊藤信之（岡山県立大）、弥政和宏（三菱電機）、加保貴奈（NTT）、加屋野博幸（東芝）、北沢祥一（室蘭工大）、九鬼孝夫（国士舘大）、阪本卓也（兵庫県立大）、清水隆志（宇都宮大）、田村昌也（豊橋技科大）、平野拓一（東工大）、馬 哲旺（埼玉大）

### 7. 重要なお知らせ

- ・ 論文採録の場合は、招待論文を含め掲載料をお支払い頂きますので、予め御了承下さい。
- ・ 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿は受け付けませんので、御注意下さい。
- ・ 本会への入会はこちら (<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>) を御覧下さい。